

議場燃ゆ

「賛成討論5」「反対討論3」。
激しい討論の応酬の末、令和4年度一般会計
予算は「賛成多数」により可決されました。
例年を上回る緊張感のもと行われた定例会
最終日を、臨場感を持ってお伝えします。

“今こそ動くべき” (賛成)

“今こそ立ち止まって
考えるべき” (反対)

一日も早い学習 環境の整備を

少子化・人口動向等総合的に
判断し「長寿命化」が最善と
の決断。男衾中長寿命化改修
工事設計委託料、城南中学校
区集約化調査検討費の予算
化で一日も早い学習環境の整
備を望む。

稲山良文議員

折原小複式学級 解消へ

今予算で「城南中学校区集約
化調査検討協議会」を立ち上
げ、折原小複式学級解消へ一
歩前身をみる。子どもたちの
ために地域関係者との対話を
迅速かつ丁寧に推進すべき。

原口孝議員

よりよい学びの 環境を

男衾中長寿命化改修工事設
計委託料の予算計上は現場の
先生方はじめ、PTA、地域
住民と十分な協議を行い「よ
りよい環境」での新たな学び
の場となるよう強く要望する。

権田孝史議員

活性化に 寄与する予算

予防接種事業では5～11歳
を対象とした新型コロナワク
チン接種及び3回目接種の早
期完了の取組等、町民の命と
暮らしを守り町の活性化に寄
与する予算と評価。

佐藤理美議員

しっかりした道筋 つける予算編成

経済情勢が不透明な中、第6
次総合振興計画後期基本計
画の初年度としてしっかりと
した道筋をつける予算編成。
積極的な財源確保に努めた
執行の努力を高く評価。

保泉周平議員

第6次総合振興計画 後期基本計画のスタート

町の方針
重点施策に

町の方針→新年度重点施策「教育施策
の充実強化」「女性の活躍推進」「健康
長寿」「中心市街地の活性化」「企業誘
致の推進」「移住・定住の促進」積極果
敢に施策を展開。

論点
ポイント

城南中学校区小中学校集約化調査検討事業 調査委託料750万円

町の方針
小中一貫教育を念頭に
城南中・折原小・鉢形小の集約化へ

児童数の減少により複式学級の編成を余儀なくされている折原小学校の現状を踏まえ、3校
の集約化を検討するため、保護者や地域と対話を進める上で必要となる基礎調査を実施。

論点
ポイント

時間をかけた 合意形成を

男衾中長寿命化改修工事設計委
託料の予算計上は極めて不適切
で時期尚早。男衾地区全体の説
明会がコロナ禍で開催できず合
意形成はまだ。時間をかけ合意
形成後進めるべき。

吉田正義議員

地域住民と一体に 進めよ

少人数学級の教育の良さが評価
されておらず、学校施設の集約
化・統廃合を中心に考えられて
いる。地域での学校の役割を地
域町民と一体に話し合いにより
進めるべきだ。

大澤博議員

なぜ早期に しなかったのか

男衾中は、なぜ建替えか改修か
の検討を早期にしなかったのか。
理想はシャレて小ざいいで木の
香りのするこじんまりした木造2
階建ての校舎、それが男衾の子
供達への最大のプレゼントだ。

岡本安明議員

論点 ポイント

男衾中学校長寿命化改修事業 設計業務委託料3493万2000円

町の方針
新築(建替え)から
長寿命化(大規模改修)へ

男衾中学校校舎は築約50年が経過。施
設の老朽化対策は喫緊の課題。

①「建替え」か「改修」かを決めるため
校舎の耐力度を調査。経年劣化はあるが
構造耐力は満点の評価を受けたため、改
修工事を行えば引き続き利用できる状態と
判明。

②校舎の健全性が確認されたため国の補
助金の対象外となり、多額の費用(約50
億円)を町税等から負担することはできな
いと判断。

③早期の教育環境改善を図るため、工事
期間を2年半程度で完了できる大規模改
修へ方針転換を図る。

あわせて
見たい
読みたい

—寄居町議会史上初—

町長が反問権行使

(3/10一般質問) →詳しくはP18



白熱の最終日
動画はこちら
3月定例会(3/22)

町民の志を背に 議論白熱

次のページは「議会と町民は一体 共に考える予算」

反対4

大澤 岡本 田母神 吉田

賛成10

権田 保泉 笠原 中嶋 吉澤 津久井 鈴木 佐藤 稲山 原口